



2025年2月7日

各位

会社名 サイバートラスト株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 北村 裕司
(コード番号：4498 東証グロース)
問合せ先 取締役 常務執行役員 CFO 清水 哲也
(TEL 03-6234-3800)

2025年3月期第3四半期決算に関する質疑応答集

当社の2025年3月第3四半期決算に関して、当社で想定していました質問および発表以降に株主・投資家などの方々からいただいたお問い合わせ、感想および当社からの回答をまとめましたので以下の通りお知らせいたします。

なお本開示は市場参加者のご理解を一層深めることを目的に、当社が自主的に実施するものです。皆様のご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆修正を行っております。

Q1 2025年3月期 第3四半期は前年同期比二桁増収増益となりましたが、どのように評価していますか？

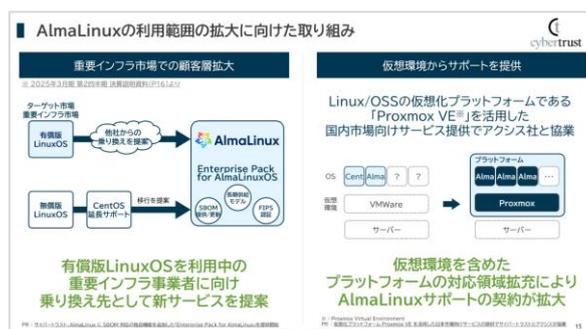
A1 全てのサービスにおいて、増収増益、第3四半期累計で過去最高を更新しています。CentOS延長サポートが第2四半期に引き続きリカーリング売上高の大幅増に貢献していること、認証・セキュリティサービスにおいて大型案件受注し計画前倒しで収益貢献しており、プロフェッショナルサービスも進捗好調であり、**第3四半期も順調に推移**しているものと評価しております。

Q2 2025年3月期の通期業績予想に対する着地の見通しについて、教えてください。

A2 通期業績予想の**達成の確度はかなり高まっている**ものと考えておりますが、業績予想の変更は現時点においては予定しておりません。

第4四半期においては、例年通り受託開発などのプロフェッショナルサービス並びに SureServer や iTrust などリカーリングサービスの季節的要因がありますので**通期の着地**については**慎重に見極め**た上で、今後、業績予想の変更が必要な状況になった場合には適時に開示いたします。

Q3 AlmaLinux の利用範囲の拡大に向けた取り組みの中で、「仮想環境からサポートを提供」とありますが、AlmaLinux サポートの契約拡大につながる背景をもう少し詳しく教えてください。



A3 CentOS や AlmaLinux をはじめとする Linux OS は、**仮想環境の上で動かすことが一般的**です。この度のアクシス社との協業により、仮想化基盤ソリューションの提供を実現し、OS よりも下の稼働環境から OS までを**包括的にサポート**することで、より多様なニーズに対応可能となり AlmaLinux のサポート契約が**拡大**していくと考えております。

* 登録商標 Linux® は、Linus Torvalds から排他的ライセンスを受けている The Linux Foundation からサブライセンスを受けて使用しています。

* その他本文書に記載されている会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。

以上